

## 検査・計測技術の新たな役割に対する期待

株式会社 IHI  
執行役員・技術開発本部長

館野 昭  
*Tateno Akira*



IHI 技術開発本部の館野です。

日頃、IIC の皆さんには検査・計測、制御、その他広い分野でお世話になるとともに、IHI グループの製品・サービスの高度化、新規事業創出に向け、いろいろな場面で、協力していただいております。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

入社以来 33 年間勤めて参りました航空宇宙事業本部を離れ、昨年 4 月に技術開発本部に参りました。

航空宇宙事業本部では、航空エンジンの開発業務に長い間携わりましたが、エンジン開発においては、振動、温度、圧力、流量など、エンジン内部環境の計測が極めて重要であること、またトラブルが起きた際の原因究明における‘決め手’も計測であること、を実感してきました。

入社した 1980 年当時はエンジンの回転部、特に高圧系回転部の温度、振動計測などは出来ないものと考えていましたが、現在はテレメータやその他の方法で回転部の計測も当たり前のように行

われています。そしてそれらがエンジン型式承認取得に際しては設計の妥当性確認のための必須データとなり、それによりエンジンの信頼性も飛躍的に向上しています。

また、部品、材料の非破壊検査をはじめとする各種高度技術による徹底した検査、また品質管理の厳しさが、航空エンジンとしての高い品質を支えているということも、身を持って学びました。

検査・計測技術の進歩、高度化は、航空エンジンのみならず、全ての製品の性能、信頼性、品質のレベルアップに必要な不可欠なものであるということは、疑う余地の無いことであると思います。

最近では、経年劣化した社会インフラやプラント設備の健全性診断、余寿命予測や各種産業機械のリモートモニタリング、メンテナンスなど、高度な検査、計測技術をベースに合理的、効果的な設備、機器の維持、更新が求められています。

IHI グループにとって、お客さまの立場に立った、予防保全事業への取組みは重要であり、検査・計測技術を担う、IIC の役割は、その点においても益々重要性が増してきていると感じています。

IICには高度情報マネジメント統括本部のメンバーとして、IHIグループの事業の高度化、新たな価値創造に向けた、横つなぎの役割も期待されています。

技術開発本部は、IHIグループ各事業領域で使われる共通技術や基盤技術のレベルを高め、高度情報マネジメント統括本部をはじめとする横串機能活動をバックアップしていきたいと考えており、これまで以上にIICとの連携も深めていきたいと思っています。

今日、技術の進歩は目まぐるしく、自前主義から脱却し、外の良い技術を取り込みスピーディな開発、事業展開を行うオープンイノベーションが求められています。技術開発本部としても、世界の一流を知り、自らのレベルを認識すること、そしてIHIグループとして新たな価値創造に有効な外部技術を見つけ、取り込むべく、技術のネットワークを広げていく活動を行っています。

この活動を、真に役立つものとするには、自らのコア技術をしっかりと認識し、常にそれを磨いていくこと、その努力を怠らないことが極めて重要であると考えています。

これまで発行されたIIC REVIEWを拝見すると、IICには検査・計測に関わる、非常に幅広く、深い技術の蓄積があることに驚かされます。

IICの皆さんには、検査・計測技術をはじめとするIICのコア技術をしっかりと見定めて、磨き続けていただきたいと思います。

横串機能としてIHIグループ各事業の強化に貢献されるとともに、IICの技術力を生かした検査・計測事業、装置・機器事業、制御関連事業などIICとしての事業の更なる拡大、発展を期待しております。

IHIグループの発展、更なる成長に向けて、ともに努力していきましょう。